

## 眼科

### ■ スタッフ

科長 近藤峰生  
副科長 生杉謙吾

医師 常勤 13名  
非常勤 7名  
視能訓練士 7名

### ■ 診療科の特色・診療対象疾患

#### 眼科の特徴

三重大学眼科では、現在、あらゆる眼科疾患（眼形成・眼窩疾患分野を除く）に対して、診断と治療をおこなっています。

初診外来は月曜日から金曜日の 8:30～11:00 で、紹介状をお持ちでない初診患者さんの診察も受け付けています。（紹介状をお持ちでない場合、別途「選定療養費」がかかります。）特に火曜日と水曜日の教授外来には、難治性の網膜疾患の方を中心に全国から患者さんが受診されています。再診は 予約制となっています。

三重大学眼科が得意とする疾患は、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑前膜などの診断と手術治療）、加齢黄斑変性（抗血管新生療法、光線力学的療法）、網膜変性疾患（網膜色素変性、黄斑ジストロフィーなどの診断とリハビリテーション）、角膜疾患（角膜外傷、角膜ジストロフィー、角膜混濁に対する角膜移植術）、涙道疾患（鼻涙管閉塞に対する内視鏡手術や耳鼻科との合同手術による涙囊鼻腔吻合術・鼻内法）、緑内障（難治緑内障に対する手術治療）、白内障（小切開超音波白内障手術）、斜視・弱視（屈折矯正と斜視弱視訓練及び手術）、小児眼科（先天白内障、先天緑内障、未熟児網膜症などの小児眼疾患）、ぶどう膜疾患（サルコイドーシス、ベーチェット病、原田病など）です。

また眼科医が 24 時間 365 日院内待機をしている県内では数少ない病院の一つで、特に眼外傷の緊急手術など、眼科二次救急を担当しています。

### ■ 診療体制

#### 主な専門外来

三重大学眼科では、特に専門的治療が必要な疾患、治療の困難な疾患、頻度の高い疾患については専門外来を設け、その分野についてのエキスパートが

治療を担当します。

#### 1) 教授外来

近藤教授の外来には、難治性眼疾患の患者さんをはじめ、全国からあらゆる眼科疾患の患者さんが受診されていますが、特に教授の専門分野は、網膜硝子体疾患、網膜の機能評価（臨床視覚電気生理）です。

#### 2) 網膜硝子体外来

網膜剥離、黄斑部疾患（黄斑上膜、黄斑円孔、黄斑浮腫、中心性漿液性網脈絡膜症など）、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、増殖硝子体網膜症、硝子体出血などの診断および治療をおこないます。特に重症型糖尿病網膜症、日本でも中途失明原因の上位となっている加齢黄斑変性という網膜の中心部に異常を来たす疾患の専門治療もおこないます。手術治療が中心となることが多いですが、加齢黄斑変性に対しては、蛍光眼底造影検査などによる正確な診断と硝子体注射と呼ばれる眼内注射治療および光線力学的療法をおこなっています。

#### 3) 緑内障外来

日本でおこなわれた大規模調査によると、40 歳以上の日本人では 20 人に 1 人の割合で緑内障患者が存在すると言われていています。また日本における失明原因のトップは緑内障です。緑内障外来では、最新の検査機器を使った早期診断から長期的な点眼治療、重症例に対する手術治療まで緑内障のトータルケアをおこないます。

#### 4) 角膜外来

角膜感染症（細菌、真菌、ウイルスなど）、ドライアイ、円錐角膜、水疱性角膜症や遺伝性の角膜疾患などの診断と治療をおこなっています。特に角膜感染症の迅速診断や角膜移植治療を積極的にこなっています。

#### 5) コンタクト外来

円錐角膜や角膜の強い乱視などの眼疾患があり、通常のコンタクトレンズができない方を対象に経験豊富な角膜専門医がコンタクトレンズの処方をおこないます。

#### 6) 涙道外来

成人の鼻涙管閉塞症、乳幼児の先天鼻涙管閉塞症に対し、涙道内視鏡を用いた検査及び治療をおこなっています。また当院耳鼻咽喉科とも連

携し、流涙症に対し顔に傷が残らない涙嚢鼻腔吻合術鼻内法をおこなっています。

7) 小児眼科外来

視機能発達の重要な時期にある小児が罹患する斜視、弱視、先天白内障、先天緑内障、未熟児網膜症などの疾患の診断、治療をおこないます。また視能訓練士という国家資格を有する7名の専門スタッフが丁寧に時間をかけて小児の検査・訓練をおこないます。

8) ロービジョン外来

現在の視機能の評価し、読み書きのための道具（ルーペ、拡大読書器、音声パソコンなど）の選定、白杖、日常生活補助具の紹介や身体障害者手帳申請の相談、視覚障害者用社会福祉関係の施設や職能訓練施設の情報提供などをおこなっています。ロービジョン外来は、完全予約制です。

テノン嚢注射	113
--------	-----

\*総手術件数には硝子体注射及びテノン嚢注射を含まず。

4) 主な施行手術と件数 (件)

手術名	27年度
硝子体手術	371
網膜復位術	11
白内障手術	824
角膜移植術	9
緑内障手術	124
斜視手術	39

■ 治療実績

1) 外来患者数 (人)

	27年度
総外来患者	29,781
総初診紹介患者	1,690
県外からの紹介患者	57
小児(15歳以下)の紹介患者	204

\*特に平成27年度は眼底三次元画像解析検査11,194件、涙管チューブ挿入112件などを外来にて施行

2) 入院患者数 (人)

	27年度
総入院患者(人)	8,466
平均在院日数(日)	5.9

3) 外来及び入院での手術及び眼注射件数 (件)

	27年度
総手術件数	1,982
硝子体注射	2,022

■ 臨床研究等の実績

当科からの論文発表や学会発表実績は以下の通りです。(平成27年度の代表的なもののみ掲載)

<英語論文>

- Kondo M, Das G, Imai R, Santana E, Nakashita T, Imawaka M, Ueda K, Ohtsuka H, Sakai K, Aihara T, Kato K, Sugimoto M, Ueno S, Nishizawa Y, Aguirre GD, Miyadera K : A Naturally Occurring Canine Model of Autosomal Recessive Congenital Stationary Night Blindness. PLoS One 10(9):e0137072. 2015
- Sasoh M, Mizutani H, Matsubara H, Furuta M, Matsui Y, Yamanaka K, Kondo M: Incidence of retinal detachment associated with atopic dermatitis in Japan: review of cases from 1992 to 2011. Clin Ophthalmol 9: 1129-1134. 2015
- Sugimoto M, Ichio A, Kondo M: Short Pulse Duration High-Power Laser Photocoagulation during Vitrectomy for Diabetic Retinopathy Reduces Postoperative Inflammation. PLoS One 10(8):e0135126. 2015
- Sugimoto M, Ichio A, Kondo M: Importance of Central Retinal Sensitivity for Prediction of Visual Acuity after Intravitreal Bevacizumab in Eyes with Macular Edema Associated with Branch Retinal Vein Occlusion. PLoS One 11(2):e0149246. 2016
- Kato K, Kondo M, Sugimoto M, Ikesugi K, Matsubara H: Effect of Pupil Size on Flicker ERGs Recorded With

RETeval System: New Mydriasis- Free Full- Field ERG System. Invest Ophthalmol Vis Sci 56 (6):3684-3690. 2015

●Kato K, Hirano K, Takashima Y, Sakamoto S, Kondo M: Histopathologic findings of perforated corneas due to ferric ion infiltration. Can J Ophthalmol 50(4):322-7. 2015

●Kato K, Takashima Y, Matsunaga K, Sugimoto M, Matsubara H, Hirano K, Kondo M: Effect of topical rebamipide on conjunctival goblet cell recovery after vitrectomy. Sci Rep 6(1):19516. 2016

●Matsui Y, Matsubara H, Hanemoto T, Kondo M: Exposure of haptic of posterior chamber intraocular lens after sutureless intrascleral fixation. BMC Ophthalmol 15:104. 2015

●Oka A, Ikesugi K, Kondo M: Idiopathic Intracranial Hypertension in a Prepubertal Pediatric Japanese Patient Complicated by Severe Papilledema. Case Rep Ophthalmol 7(1):148-153. 2016

#### <邦文論文>

●杉本昌彦、一尾享史、松原央、近藤峰生：糖尿病黄斑浮腫に対する硝子体内ベバシズマブ初回 3 回投与後の経過。臨床眼科 69 (7) : 1033-1036. 2015

●高嶋祐布子、加藤久美子、坂本里恵、近藤峰生：涙道内視鏡下に挿入した 2 種類の涙管チューブに付着した細菌と治療予後の検討。あたらしい眼科 32 (7) : 1033-35, 2015

●布目貴康、杉本昌彦、松原央、小林真希、坂本里恵、小澤摩記、近藤峰生：糖尿病黄斑浮腫に対する防腐剤無添加トリアムシロンアセトニド硝子体内注射による無菌性眼内炎。あたらしい眼科 32(6) : 909-912, 2015

●布目貴康、松原央、小澤摩記、加藤久美子、近藤峰生：散弾銃による角膜穿孔外傷の 1 例。眼科 57 (10) : 1275-1279. 2015

#### <邦文書籍>

●近藤峰生：4. その他の視野検査 多局所 ERG. 専門医のための眼科診療クオリファイ 27. 視野検査とその評価：113-116. 中山書店. 東京. 2015.7

●近藤峰生：第 3 章 眼の構造と機能の検査 網膜電図 (ERG)、視覚誘発電位 (VEP). 小児眼科学：61-67. 三輪書店. 東京. 2015.10

●松原央：第 3 章 網膜剥離の診断. V 臨床所見 F 前眼部検査. 眼科臨床エキスパート 網膜剥離と極小切開硝子体手術：180-186. 医学書院. 東京. 2015.4

#### <シンポジウム>

●Kondo M: Clinical Application of a Hand-Held, Skin Electrode ERG System (RETeval). APAO2015 Symposium. GUANGZHOU, CHINA. 2015.4.1

#### <教育講演>

●Kondo M: Experimental ERG in the discovery of novel aspects of retinal function diagnostic insights to better understand the underlying pathophysiology. 53<sup>rd</sup> Symposium of International Society for Clinical Electrophysiology of Vision. Ljubljana, Slovenia. 2015.6.23

#### <一般講演>

●Kondo M: Clinical Application of Reteval System: New Small, Hand-held Mydriasis- free ERG System. MACULA SOCIETY 38<sup>th</sup> Annual Meeting. Scottsdale, U.S.A. 2015.2.27

●Kondo M, Kato K, Sugimoto M, Ikesugi K, Matsubara H: Effect of pupil size on flicker ERGs Recorded with RETeval system: experiments using mydriatics and artificial pupils. 53<sup>rd</sup> Symposium of International Society for Clinical Electrophysiology of Vision. Ljubljana, Slovenia. 2015.6.25

●Kondo M, Kato K, Sugimoto M, Ikesugi K, Matsubara H: Effect of Pupil Size on Flicker ERGs Recorded with RETeval<sup>TM</sup> System: New Mydriasis-Free Full-Field ERG System. 4<sup>th</sup> Japan-Korea Joint Symposium of Clinical Electrophysiology of Vision. Seoul, Korea. 2015.10.31

●Fujinami K, Hayashi T, Kuniyoshi K, Kondo M, Ueno S, Shinoda K, Tsubota K, Miyake Y, Tsunoda K, Iwata T: Japan whole exome project for inherited retinal diseases 2014. 53<sup>rd</sup> Symposium of International Society for Clinical Electrophysiology of Vision. Ljubljana, Slovenia. 2015.6.26

(その他の業績等は、下記の三重大眼科公式ホームページをご覧ください。)

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/ophthalmology>